

1 小単元名 「ベイトウンの発展につくした人たち」

2 小単元の目標

- ベイトウンの発展に尽くした人たちの取り組みや思いを考え、様々な人たちの努力により今の街が出来上がっていることを知り、地域への愛着を深めることができる。
- 自ら街の問題を考え、進んで街を良くしていこうとすることができる。

3 小単元の評価規準

評価の観点	評価規準
社会的事象への 関心・意欲・態度	○ベイトウンに尽くした人の努力や思い、街の歴史に関心を持ち、進んで考え調べようとしている。 ○街に起きている問題を自分事として考え、街の将来を進んで考えようとしている。
社会的な 思考・判断・表現	○街の発展のために尽くした人たちの努力や思いについて学習問題や予想、学習計画を考え、表現している。 ○ベイトウンには街並みの計画を考えた人や行事を計画し、実行している人の様子から街をより豊かにしようと強い思いをもっていることについて考え、適切に表現している。
観察・資料活用の 技能	○地域のフィールドワークや地域に尽くした人たちへのインタビューを行い、街の歴史やその発展に尽くした人の努力をまとめている。 ○アンケート結果を読み取ったり、インタビューをしたりして、街の課題やその改善策を見つけている。
社会的事象について の知識理解	○ベイトウンの人々の生活の変化や向上が、人々の願いや発展につくした人たちの取り組み、苦労によるものであることを理解している。

4 小単元について

(1) 学習指導要領との関連

本小単元は、学習指導要領の目標(2)「地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし、地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。」を受け内容(5)のウ「地域の発展に尽くした先人の具体的事例」に該当する。

(2) 教材について

千葉市美浜区打瀬に位置する、本校の学区は「ベイトウン」と呼ばれている。戸建住宅が一戸も

なく、マンションが立ち並ぶ街である。1995年より入居が開始され、20年たった現在もマンションの造成が進み、開発、発展が続いている。

本小單元では、「ベイタウンの発展に尽くした人たち」という小單元を構成し、ベイタウンの開発、街づくりに尽くした3人を取り上げて、学習を進めていく。取り上げる人は、「埋め立てられた何もない土地からマンション建設計画やベイタウンの街づくりに関与した、企業元職員のAさん」「商店街の振興組合会長でベイタウン祭りなどの行事を計画しているBさん」「街開き当時の住人でベイタウン恒例になっているラジオ体操を始め、初期の住人たちの交流のきっかけをつくるために尽力したCさん」という3人である。

3人は「街の造成」「地域をつなぐ活動や行事」「地域の人々の交流」と、それぞれ行ってきたことは違うが、「よい街をつくりたい。」「地域住民の生活をより豊かにしたい。」「住人たちの心のつながりの場をつくりたい。」という、強い思いや信念をもって活動してきた点は共通している。街の始まり当時の課題、地域住民の願いや思いを的確にとらえ、それを解決、実現するために、3人がそれぞれの立場で苦労や努力をした結果、「住みやすい街」「豊かな生活」が生まれたのである。

本小單元では、副読本「わたしたちの千葉市」「すすむ千葉県」で扱っているように、千葉市の発展に尽くした過去の先人を事例として学習するのではなく、今を生きる3人を取り上げて学習を進めていく。そのよさは次の通りである。

一つ目は、自分たちが住む街の人や事実を取り扱うことで、学習内容を身近にとらえ、追究意欲が高まり、主体的に学ぶことができる点である。自分たちの住む「ベイタウン」のよさを感じている児童にとっては、過去の様子と現在の様子を比較し、「なぜ、このようによい街になったか。」「それをつくったのはどのような人たちだろう。」と問題意識がもてるであろう。調べる過程においても、身近な生活と関連付けながら、追究活動をすることができる。

二つ目は、3人から実際に話を聞いたり、関係のある場所に足を運んだりすることができる点がよさである。過去の先人であれば資料等でしか学ぶことができない内容でも、本人の苦労や思いを直接聞くことができたり、新たに生まれた児童の疑問にも答えてもらったりすることができる。また、3人の働きによって生まれた変化についても、街に長く住み変化を実感している人々から聞くこともできる。

三つ目のよさは、地域の人や事象を扱った本小単元の学習を通して、今まで以上に街への愛着が深まるという点である。愛着が深まるにつれ、街をよりよくしていくためには自分たち自身も努力し、協力していかなければならないというような街づくりへの参画意識が高まるだろう。Aさん、Cさん、Bさんの3人が行ってきたことをモデルにし、「ベイタウンをさらによりよい街にするためには、どうしたらよいか。」について考え、自分たちのできることを見つけて行動しようとする意識も培っていききたい。

本小単元の学習でベイタウンの発展に尽くした3人について学ぶことを通して、ベイタウンのよさや人々の街に対する思い感じ、街に住む一員として自分の街を大切にしよう、進んで街にかかわろうとする気持ちや態度を育てていききたいと考える。

(3) 児童の実態 (男子16名 女子17名 計33名)

① 社会科の学習は好きですか。

とても好き (6人)	好き (15人)	あまり好きではない (9人)	好きではない (3人)
いろいろな地域が知ることができるから 千葉市のことを知ることができるから 地図帳を使い、調べるのが楽しいから 実際に行って調べることができるから (校外学習)		調べることが多いから おぼえるのが大変だから	

② 今までの学習でおもしろかったり、わかりやすかったりした内容はどこですか。またその理由を教えてください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみを減らす方法を考えた学習 (総合と絡めた学習)</li> <li>・まちパンフレットを作った学習 (総合と絡めた学習)</li> <li>・地図帳を使って地域を調べたこと ・水を実際にきれいにするなどの体験的な活動</li> <li>・校外学習</li> </ul>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

③ ベイタウンは好きですか。

好き	どちらかというとき好き	どちらかというとき嫌い	嫌い
26人	6人	1人	0人

④ ベイタウンの良いところはどこですか。(選択)

- ・街並みがきれい (26人) ・お店が多い (24人) ・遊ぶところが多い (20人)
- ・新しい街 (19人) ・道が安全 (18人) ・街にごみがない (17人)
- ・遊べる公園がたくさんある (16人) ・歴史がある (0人)
- ・その他 (学校がきれい、マンションがたくさん、海が近い、安全)

⑤ ベイタウンとほかの地域はどこが違いますか？

- ・マンションがたくさんある (10人) ・街並みがきれい・新しい (7人)
- ・図書館や公園が多い (4人) ・電線がない、埋まっている (3人) ・歩道が広い (2人)
- ・ごみが捨てられていない (2人) 海が広い (2人)
- ・街の人が優しい (1人)

⑥ 今まででベイタウンについて学習したこと、知ったことを教えてください。

2年 町たんけん ・ベイタウンにはたくさんお店がある ・お店では夕方こむことがわかった	・きれいな街並みだった ・お祭りを企画している人がいる
---------------------------------------------------	--------------------------------



多い。一方でそこに住む人や活動に関して関心を持っている児童は少ない。設問⑦⑧でもベイトウンに住んでいる大人や街のために活躍している人物にあまり気づけていない現状がわかった。児童はみんなマンションに住み、マンション内でのつながりにとどまってしまう、隣人同士の関わりも少ない。そのために家族以外の大人があまり思い浮かばない現状がある。

児童は設問⑩のように半分以上の児童が物心つくまでにベイトウンに住んでいることがわかる。大人から見るとベイトウンは“新しくできた街”のように思われるが児童にとっては、もはや“生まれながらにある街“となってきたのではないのかということがわかる。

以下のような児童の実態から、本小単元では埋め立てを終えてからの30年で、街は大きく変化、そこにたくさんのベイトウンに対する強い思いがあることに気付かせる中で、よりベイトウンへの愛着がもてるようにしていきたい。

#### (4) 小単元で育てたい力

本校研究主題「よりよい社会の姿を描くことのできる児童の育成」にせまるため、本小単元では、以下の二つの児童の姿を目指したい。第一に、地域の歴史事象から見出した問題を主体的に解決する中で、「人々の願いや思い、苦労や努力があったからこそ現在のベイトウンがある」ことを理解する児童の姿。また、地域の歴史を理解したことで、地域への理解が深まった児童の姿である。第二に、地域への愛着を深めた児童が「自分たちの住むベイトウンをもっとよくしたい。」という思いをもち、自ら地域の問題を考え、進んで関わろうとする姿である。

そのような児童の姿を実現するために、まず一つ目に地域の歴史に対して、自ら疑問をもち、主体的に学ぶ態度が必要である。その態度を育てるために、ベイトウンができる前の航空写真と現在の航空写真を読み比べる活動や年表を読み取る活動を取り入れていく。そうすることで、自分の住む地域の大きな変化に疑問をもち、進んで学習に取り組めると考える。

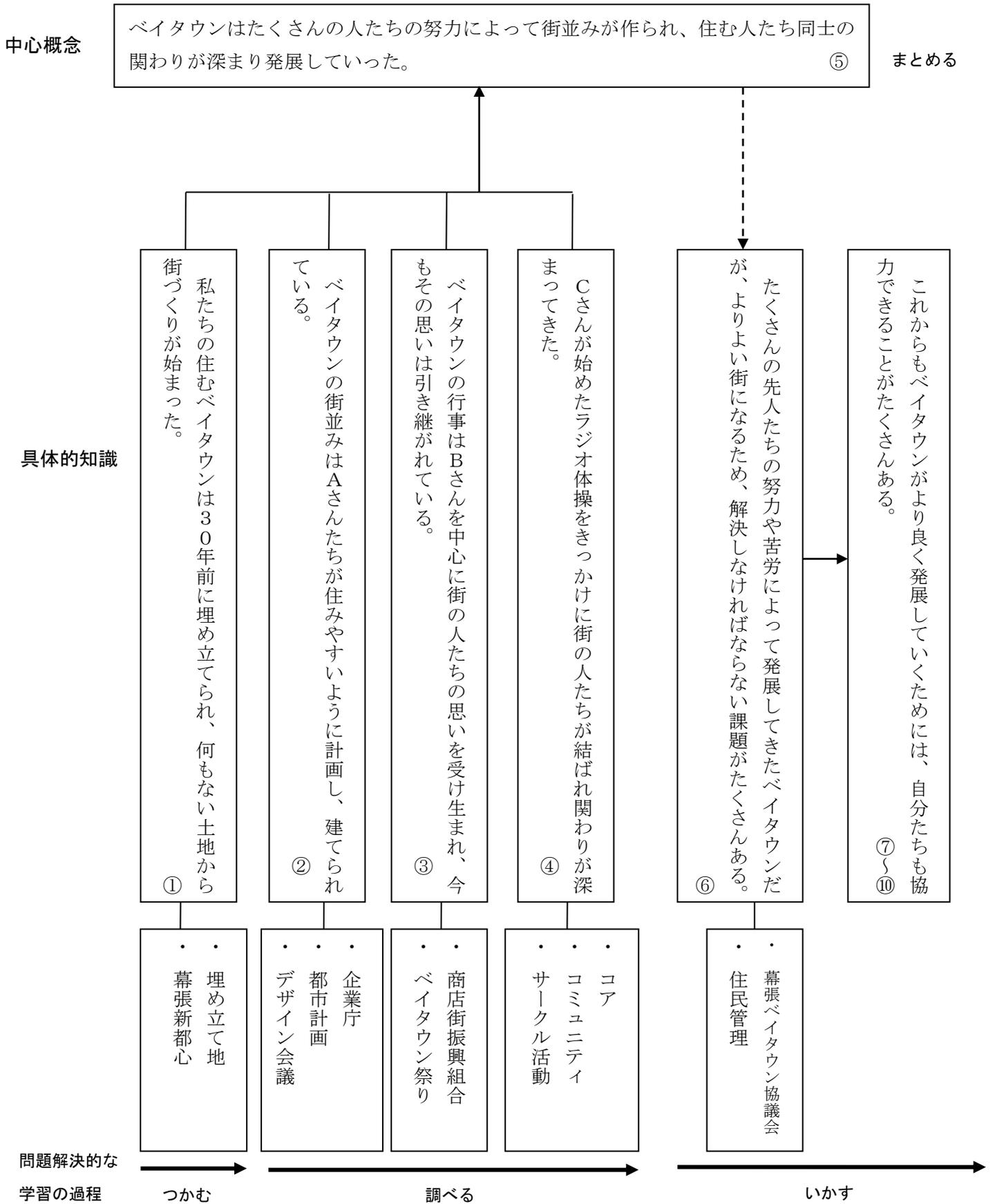
二つ目に、主体的に問題解決学習を進める中で、「ベイトウンの開発と街づくりに尽くした3人の働き」と、「地域住民の生活がより豊かになったこと」を関連付けて考える力である。その力を身に付けさせるために、ただ現在のベイトウンになった経緯を学習するのではなく、そこには、たくさんの人々の願いや思い、苦労や努力があったことに気づけるようにしたい。そこで、ゲストティーチャーの話や聞き取り場面を取り入れる。そうすることで、たくさんの方が願いや思いをもって行動したからこそ、現在のベイトウンがあることについて実感をもって理解できると考える。

三つ目に、地域の新たな問題を前にしたとき、児童が、「地域のために自分たちができること」を考え、自ら地域に関わろうとする力である。

その力を身に付けさせるために、学習過程の「いかす」場面では、地域の人と関わりながらベイトウンの問題について共に考える活動を取り入れていく。その活動の中で、現在のベイトウンにおける問題について理解するとともに「今の自分にできること」と「将来の自分ができそうなこと」を整理しながら考えられるようにしていく。そうすることで、今の自分にもできることがあることを具体的につかみ、自ら関わろうとする意識をもてるようになることを考える。

以上のような力を身に付けさせる中で、地域の歴史に込められた人々の思いや願い、苦労や努力について理解する中で、地域への愛着が深まり、自ら地域に関わろうとする児童を育てていきたい。

5 知識の構造図



6 単元の指導計画（全10時間扱い）

総合的な学習の時間

○ もちつき大会に参加しよう

昨年4年生が行ったもちつき大会の映像や青少年委員会の会議の様子を見て参加の意欲を高める。ベイトウンが街開きから20周年であり、その歴史の中でもちつき大会が生まれたことを知る。その伝統を引き継ぐためには、まず街全体の歴史について知る必要があるという意識をもつ。



過程	時間	主な学習活動と内容・評価（◇）	みはまタイム
つかむ	1	<p>○ベイトウンが出来る前の航空写真と現在の航空写真を見比べ、最近生まれた街であることをつかむ。</p> <p>○ベイトウンの穴あき年表をもとにどのような出来事があったか予想する。</p> <p>○ベイトウンの発展に関わった人物を知り、その取り組みに関心を持ち学習問題を作る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     ベイトウンはどのようにして発展してきたのだろう。                 </div> <p>◇ベイトウンができた歴史や当時から続く行事に関心を持ち進んで調べようとしている。（関・意・態）</p>	
調べる	2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     ベイトウンの街並みはどのようにしてできたのだろう。                 </div> <p>○Aさんのインタビューや年代ごとのマンションの建ち方を調べる。</p> <p>◇街並み作りには計画があって、それをもとに今の姿になっていることを理解している。（理）</p>	<p><b>自分だけのベイトウン年表を作ろう</b></p> <p>社会科で学習した内容をもとに穴あき年表のまとめる。</p> <p>さらに調べたい出来事をベイトウンニュースや身近な人のインタビューで調べ、穴あきを埋めベイトウン年表を作る。</p> <p>※出来事だけでなく、そこに関わった人たちの思いや背景などを色分けしてまとめられるような年表にする。</p>
	3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     ベイトウンの行事はどのように作られているのだろう。                 </div> <p>○過去に行われた行事の広告や写真をもとにベイトウンの行事や会について調べる。</p> <p>○Bさんのインタビューを聞き、Bさんの行事にかかわる思いを考える。</p> <p>◇ベイトウンの人々の願いと、それを実現しようとした人たちの努力や苦勞を関連付けて考え、表現している。（思・判・表）</p>	
	4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     ベイトウンに住む人たちの関係はどのようにして深まったのだろう。                 </div> <p>○写真資料をもとにCさんが始めたラジオ体操の規模の変化について調べる。</p> <p>○実際に、Cさんからラジオ体操の様子の変化について話を聞く。</p> <p>◇資料やCさんの話をもとに、ラジオ体操の活動をきっかけにマンションに住む人たちの関わりや交流が活発になってきたことを読</p>	

		み取っている。(技)	
ま と め る	5	<p>○これまでの学習を振り返り、ペイタウンの街が生まれ今の姿になるまでに、たくさんの人の努力や思いが詰まっていることを理解し、街が発展してきた様子をまとめる。</p> <p>○振り返りとして学習を通じ、これからのペイタウンはどのように発展してほしいか考えをまとめる。</p>	
		<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ペイタウンはたくさんの人たちの努力によって街並みが作られ、住む人たち同士の間わりが深まった。</p> <p>◇ペイタウンがよりよい街として発展してきているのは、人々の願いやそれに応えようとした人たちの強い思い、努力によるものであることを理解している。(知・理)</p>	
い か す	6  本 時	<p>○前時にまとめた街への自分たちの思いを振り返り、人によって様々な思いがあることに気づく。</p> <p>○ペイタウンの街に住む人や仕事をしている人などに行ったアンケート資料を見て、これからのペイタウンへの希望は多岐に渡っていることを知る。</p> <p>○様々な要望に応えたり課題を解決したりするためには自分たちがどのように関わっていくべきかについて調べ、考えるための学習問題を作る。</p>	
		<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">これからのペイタウンのために私たちはどのようなことができるだろう</p> <p>◇アンケート内容からペイタウンの抱える課題に関心を持ち、学習問題を作っている。(関・意・態)</p>	
	7	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">街の歴史を知っている人たちに意見を聞く計画を立てよう</p> <p>○課題に対するヒントを得るために、今まで学習してきた人物にインタビューをする計画を立てる。</p> <p>◇自分が選んだ課題に対し、調べることに對する計画を考え表現している。(思・判・表)</p>	<p><b>みはまタイム</b></p> <p>○ <b>未来年表を考えよう</b></p> <p>これからのペイタウンがどのような年表の未来欄にまとめる。</p> <p>友達と調べた出来事や今後の思いを共有する。</p>
8  9	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ペイタウンの歴史を知っている人たちは街にどのような問題があると考えているのだろう。</p> <p>○地域の問題に対する先人の意見を聞く。</p> <p>○学習した人たちとこれからペイタウンはどのような街になればよいか意見を交わす。</p> <p>◇先人にペイタウンの問題を聞くことで地域の問題を具体的に理解している。(知・理)</p>		

10	<p>○今までの学習を通じて、ペイタウンがどのような街になってほしいのか、そして、そのために自分がどのようなことができるか考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>これからも街を発展させていくためには、私たちが街づくりに関わっていくことが大切だ。</p> </div> <p>◇自ら地域の問題を考え、進んで地域に関わろうとしている。</p> <p style="text-align: right;">(関・意・態)</p>	
----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

社会科  
**特色のある地域と人々の暮らし**  
 特色ある地域の特徴について進んで調べる意欲を持つ。また、自分の住む地域と比べることでより特色の違いを考える。

みはまタイム  
**地域、つなげよう、もちつき大会**  
 ペイタウンの行事に参加し、街への関わりを深める。もちつき大会の運営を通じて住人同士のつながりを深める機会を作り、自分の考えるペイタウンのために行動する。  
**未来、つなげよう、1/2 成人式**  
 自分が生まれてから起きた出来事を自分史としてまとめる。街の発展と照らし合わせ、自分の成長には周りの人たちや街の発展とともに成長してきたことに気付く。

## 7 市教研社会科研究主題のための方策

「みえる わかる・・・いかす」  
 よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎を培う社会科学習

本年度主題解明のための方策（市教研社会科部会研究計画より）

- ①めざす児童の姿、習得すべき概念、身に付けさせたい力の明確化
- ②追究意欲を高め、社会認識が深まり、参画への意識が育つ教材の開発
- ③主体的に学び、参画への学習意欲が高まる学習過程の工夫（問題解決的な学習の充実）
- ④社会認識の深まりや社会に参画する力を見取る評価の工夫

本単元では、研究主題の中から次の点に留意して指導および評価に取り組んでいきたい。

- ② 追究意欲を高め、社会認識が深まり、参画への意識が育つ教材の開発

<社会事象を身近にとらえるための単元開発>

本小単元は、地域の発展につくした人を具体的に扱う小単元である。しかし、歴史にかかわる学習は3年生の「むかしの道具とくらしの変化」のみである。児童にとって過去の出来事を想像し考えることは困難である。そこで、事象をより身近に捉えやすくする必要がある。本小単元ではより身近な地域を教材として学習を進める。児童の住むペイタウンは1972年に埋め立てが開始され1980年ごろ埋め立てが完了し、1995年に街開きされた。街開きから20年しか経っていない歴史が浅い街である。しかし、何も無い土地から住居が建ち、人が入居し、協力して生活をする中で、いくつもの課題があり、それを解決してきた経緯がある。今、児童が住んでいる街になるまでに起きたいくつもの出来事を取り扱うことで、歴史的な事象をより考えやすくなると考える。

また、本小単元は開発単元であるため、学習指導要領及び目標から逸脱しないよう留意している。立場の違う3人の先人をそれぞれの角度から取り扱うことで街開き当時の苦勞、人々の願い、当時の暮らしの様子などに迫ることができる。また、街への関心が高い学級の実態や身近で様子を想起しやすい点を考えても、追究意識を高める教材であるといえるだろう。

さらには、地域の歴史を学ぶことを通して、地域への理解が深まることで、街への関心を高め、進んで街へ関わろうとする社会への参画する姿勢を育てていきたい。そして、児童の地域へ進んで関わりたいという思いを実際に街の行事に参加する活動へとつなげていきたい。

### ③ 主体的に学び、参画への意識が高まる学習過程の工夫

#### <人から学ぶ学習の展開>

歴史学習ではその時代に活躍した人が世の中の課題に対して「どのような目的で」「どのような思いで」取り組んだのか想像することは難しい。しかし、身近な地域の人物を扱うことで少しでも学習に取り組みやすくなると考える。よって、本小単元では人との出会い方にも工夫をしていく。例えば、ラジオ体操をきっかけに街の人たちの関わりを深めたCさんの学習では先にラジオ体操が始まった当時の写真を提示する。現在の参加者が1000人を超える様子とは違い、数えるばかりの参加者を見て、児童はきっと何か工夫や努力、強い思いがあったに違いないと予想を立てるだろう。しかし、その資料からはそれ以上のものは読み取れない。そして、児童のもっと知りたいという思いが高まった時に、Cさんに当時の様子を語ってもらう。事前の資料で知りたい部分が明確となり、まさにその時に思いに応じてくれる人から話を伺うことで、より深く当時の苦勞や思いに触れることができる。そして、学習を生かす場面では、その先人たちと、これからの街をどのように良くしていくかをともに考えることで、これからの街は自分たちも参加して発展させていこうという社会参画の意識を高められることができる。そして、今後のみはまタイムでの街の行事に参加、その後の行事や街での出会いなどで、より一層先人への感謝の思い、そして地域への愛着が深まっていくのではないかと考える。

## 8 本時の指導（6／10）

### （1） 本時の目標

- アンケート結果からベイトウンの抱える課題に関心を持ち、学習問題を作ることができる。  
(関心・意欲・態度)

### （2） 本時の展開

時配	学習内容と内容	○教師の支援 ◇評価の観点	資料
3	1 前時までに学習した先人たちの取り組みと街に対する願いを確認する。 ・Cさんはさらに住む人たちの関わりが深まるといいと言っていた。 ・街並みをきれいに保つことが大切だと教えてもらった。	○先人たちの写真やインタビューの様子を掲示し、前時までの学習内容を想起しやすくする。	Aさん、Bさん、Cさんの写真
7	2 前時にまとめた自分たちの街への願いを発表する。 ・いつまでもきれいな街でいてほしい。 ・住む人たちが仲良く暮らせる街がいい。 ・Aさんは住人がこれからの街を作っていくことが大事だって言っていた。  ・Bさんが言っていたようにこれからも楽しい行事が続いていくといい。	○発表で挙げた児童の願いを、学習してきた「施設面」と「人との関わり」に関しての2観点に分けて板書する。 ○先人たちも共通してこれからも良い街が続いてほしいと願っていることに気付かせる。	
20	3 家の人の街に対する要望の集計を見てベイトウンにはまだ課題が多いことに気付く。 ・児童の意見と比べて、課題を挙げる人が多い。 ・ベイトウンにもまだまだ良くしないといけないことがたくさんある。	○アンケートから読み取った課題も先人と同じく、「施設面」と「人との関わり」の2観点に分けて提示し、理想の街のためには課題がいくつもあることに気付かせる。	アンケート結果
5	4 学習内容とベイトウンの現状を踏まえて、学習問題を作る。	◇アンケート内容からベイトウンの抱える課題に関心を持ち、学習問題を作っている。 (関・意・態)	
これからのベイトウンのために、わたしたちはどのようなことができるだろう。			
10	5 学習問題に対して調べる見通しを立	○黒板の写真や前時までの振り返り	

	<p>てる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>•A さんたちも今の街に対して考えがありそうだ。</li><li>•学習した先人の人たちに聞いてみよう。</li></ul>	<p>をもとに、自分の決めた課題に合う人物に相談する視点をもたせる。</p>	
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------	--